

Bloomsbury Walk No.4

- UCL and Imperial College Merger
- University と College
- UCL, Bartlett School
- Transport for London

UCL and Imperial College Merger

10月14日付現地の新聞¹で、ユニバーシティ・カレッジ（1826年創立）とインペリアルカレッジ（1907年創立）が合併すると報道された。この件は職員・学生には事前に知らされていなかったのが発表直後にユニオンが討論会を開いたし、その結果をメールで配布した。合併は決定事項である旨であったが時期も明確になっていないし私にはさほど関係あるとは認識していない。

University と College

ユニバーシティとカレッジの日本語訳は辞書²によると、“ラテン語「同



僚(colleague)の団体」の意から”米国では通例総合大学(university)に対して単科大学をさすが明確ではなく、英では public school の名称(e.g.Eaton college)にも使われている、とある。日本の大学名の英訳は、いや、米訳はこれに沿っている場合が多い。そして、“2”として英は学寮(オックスフォードやケンブリッジ大学の学生寮を指す)。つまり教育の場が University や Faculty、生活の場が College と言うことになる。

ところが、オックスフォード・ケンブリッジ以外では状況が異なり、BLOOMSBURY WALK No.4 22 October 2002

ロンドン大学の場合は、連邦制をとっているのが数多くの College や School が集まって構成されている。つまり College や School が独立している。UCL や Imperial などのカレッジは一つの大学に相当する規模がある。

では、ロンドン大学の役割はと聞かれると私自身まだはっきりと答えられない。一つわかっているのは、学位の授与が Msc/MA までが各カレッジから授与され、MPhil/PhD はロンドン大学の審査による授与となっている。現在ロンドン大学に加盟しているカレッジは???いくつあるのだろうか？

UCL, The Bartlett School

今の私の所属はと聞かれた場合、会社を休職しているので社会的には二束のわらじを履いていることになる。学生のほうを日本語に訳すと“ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン大学バートレット・スクール大学院都市計画研究修士課程在籍”と非常に長くなってしまいが、これが正式なのでしょう。英国式で言えば UCL, The Bartlett School of Planning, MPhil in Town Planning となる。それでも長いですね。”UK”のようには短くなりません。

ロンドン・トランスポート

地下鉄、バス、トラム等を運営する公共交通会社であり、ロンドンの公共交通はほとんどこの1社によって運営されているといっても過言ではない。

学生は3割引で定期券を購入できる。しかし、定期券を購入するためには学生用のフォトカードというものを作らなければならない。一般であれば写真を窓口を持っていけば直ぐに作ってくれる。学生の場合、専用の申し込み用紙に必要事項、学生である証明及び£5（事務手数料）を添えて郵送で申し込む。フォトカードが届くまでには実際には2週間程度かかるとされている。私の場合一度転送があったのでほぼ予定通りに届いたことになる。（つまり、学生になったからといって直ぐに学割が利用できるわけではない。スムー

ズにことが運んだとして2週間だから、何か不手際や事故などが発生した場合、それ以上かかることを覚悟しておかなければならない。大学では最初の一ヶ月は通常の定期券を購入することを薦めている。

料金はゾーン制を採用しているのでゾーン1-2とか1-3というよ



うに購入する。1週間、1ヶ月、1年などがあり、長期になれば割安になる。ゾーン1-3の一週間のトラベルカード（普通）は£22.5。ゾーン間は乗り降り自由。それから、あの赤いダブルデッカーをはじめとするバス、一部の都市鉄道、テムズ川の船、トラム等にも使えるので、これは日本の定期券よりお得な印象。

バスのサービスは都内と比較して非常にレベルが高いと思うことがある。バスが来ない苦情をよき聞くけど、路線によるけど運行頻度が高いし、地下鉄からバスに乗り換えるときに、バス停までのアクセスが良い。日本だと郊外駅の場合かなり歩かないとバス停がないとか。公共交通であるバスは駅前においても一般道路においても優先されている。それに、バスも地下鉄もゾーン制料金の範囲だから追加料金を必要としない。定期券(Travel Card)一枚で済んでしまう。またICチップを埋め込んだ用意されている。

(あ)

¹ The Guardian, 14 Oct. 2002 “UCL and Imperial Merger”

² 新英和中辞典第5版、研究社